

## 文教厚生常任委員会

### 子供たちによる事件

### 町内では、大きな事案はない

平成十六年度宮之城町  
一般会計補正予算（第  
六号）の關係分

**問** 合併対策推進費のなかで、合併に伴うゴム印等は、「ラブ・ラブみやのじょう」により、地元業者等に発注するの  
か。

**答** 合併関係のゴム印・公印等の発注のあり方については、薩摩町・鶴田町・宮之城町の三町全部が対象になるので、まだ協議をしていないが、地元を活用する方向で検討をしたい。

**問** 社会福祉施設費のなかで、敬老園の三名の職員が、介護保険の調査員室に異動しているが、仕事に支障は出ていないか。また、臨時職員十名の民間移管後の処遇は、どうなるのか。

**答** 新たに、調理員一名、介助員二名の臨時職員を雇用している。当初、不慣れな点もあったが、現在は、うまくいつている。また、臨時職員十名の民間移管後の処遇は、公募要綱に、引き続き採用してもらいたいということを一項目入れており、引き受け者のほうも面接等を実施し、本人の希望により、採用していくという話を聞いている。

**問** 山崎保育所の屋外運動場をクレー舗装するということが、民間に移管する他の保育所等の整備はどうなのか。

**答** 他の保育所についても、社会福祉協議会と協議中であり、整備箇所の要望調査をしている。

**問** 全国的に、子供たちのいろいろな事件があるが、本町の小・中学校で、いじめも含めて、そういう事例があるのか。

**答** 今までなかったような問題行動等が、ニュース等で報道をされているが、心の教育の充実については、管理職研修会等で指導をしており、町内においては、大きな問題となるような事案等の報告は受けていない。

平成十六年度宮之城町  
介護保険事業特別会計  
補正予算（第二号）

**問** 薩摩・鶴田の介護保険料や  
収支の状況は。

**答** それぞれの保険料については、薩摩町三、六〇〇円、鶴田町三、三〇〇円、宮之城町三、五〇〇円である。収支状況としては、薩摩町・鶴田町についても、借入れなしで運営しており、経営状況は順調とのことである。

平成十六年度宮之城町  
国民健康保険事業特別  
会計補正予算（第一号）

**問** 合併時に、三町とも医療費の三月分相当額を基金として持ち寄る計画とのことだが、そのメドは。

**答** 本町の場合、三月分で約二億九千万円となる。繰越金で、基金積み立てをするようにしているが、現段階で約六千万円の基金積み立てがある。今回の補正分と繰り越し金等を合わせると、計画どおりにいくものと考えている。